

平成28年度
(2016年度)

「空の日」

中学生海外主要空港派遣事業

7/25(月) ~ 7/30(土)

Seattle・Phoenix・Los Angeles

= 研修レポート =



「空の日」・「空の旬間」実行委員会

事務局： 一般財団法人日本航空協会
事業委嘱・編纂： 公益財団法人JAL財団



目 次



1.	はじめに	1
2.	7月25日(月)～7月30日(土) 旅程 一覧	2
3.	研修写真	3
4.	研修レポート	
	「最高の仲間と貴重な体験」 石井 友菜 多古町立多古中学校 3年	15
	「夢の実現への第一歩」 伊藤 愛美 河内町立金江津中学校 3年	17
	「世界とつながる空の旅」 稲橋 莉 栄町立栄中学校 3年	19
	「航空の裏側で学んだこと」 内田 颯太 神崎町立神崎中学校 3年	21
	「夢への第一歩」 木内 昭汰 芝山町立芝山中学校 3年	24
	「将来の夢への第一歩」 北村 穂香 富里市立富里中学校 3年	26
5.	編集後記 引率者より メッセージ 成田国際空港株式会社 (NAA) 黒川 文雄 公益財団法人 JAL財団 添乗員 上野 友子 公益財団法人 JAL財団 リーダー 浜崎 明美	29
6.	「空の日」中学生派遣事業一覧	

1. はじめに

「空の日」・「空の旬間」実行委員会では、「空の日」(9月20日)記念事業の一環として、次世代を担う中学生を海外主要空港へ派遣し、空港や航空関連施設の見学を通じて、空港と航空への関心と理解を深めてもらい、視野の広い若者へと育成することを目的として、1990年度(平成6年度)より“中学生派遣事業”を実施しています。これまでに414名の皆さんが参加されるにいたっておりますが、23回目の実施となった今年度は6名の代表中学生を、アメリカのシアトル、フェニックス、ロサンゼルスへ派遣しました。

この研修レポートは、その皆さんが研修終了後に書かれた作文を中心に取り纏めたものです。空港の主要な施設、ボーイング社工場、運航乗員訓練所、運航乗務員・客室乗務員の仕事を見学することにより空や空港について考え、また、現地の学生と国際交流の素晴らしさを体験したことが、参加された皆さんの国際的な視野と将来の夢を広げる一助となっていれば幸いです。

なお、今年度の事業が所期の成果を挙げ、無事に終了できましたことは、ひとえに企画、そして受入に全力を傾けてくださった関係各位のご協力、ご支援の賜物です。

成田国際空港㈱の皆様、㈱JALグランドサービスの皆様、ボーイング社エバレット工場の皆様、カミアックハイスクールの皆様、ロサンゼルス空港の機内食工場の皆様、JALフェニックス運航乗員訓練所、ANA、JALの各シアトル・ロサンゼルス支店、両社の各運航・客室乗務員の皆様、ボーイング社・機内食工場の見学をご手配くださったJALの皆様はこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

2016年度「空の日」記念事業の一環として作成されたこの研修レポートが、皆さまの今後の事業推進におけるご参考となれば幸甚です。

2. 7 月 25 日 (月) ~ 7 月 30 日 (土) 旅程 一覧

		13:15 14:00	成田空港にて研修開始式、 空港施設見学
7/25 (月)	東京(成田)発	18:05	NH(全日空)178 便にてシアトルへ 機内で客室乗務員の話聞く
	シアトル着	11:25	
			市内見学(パイクプレイスマーケット~スペースニードル) シアトル泊
7/26 (火)			ボーイング社エバレット工場見学 現地学生と一緒に航空博物館見学と昼食懇親会
	シアトル発	17:59	AA(アメリカン航空)442 便にてフェニックスへ
	フェニックス着	20:52	フェニックス泊
7/27 (水)		09:00 ~	JAL フェニックス乗員訓練所見学
			セドナ見学 フェニックス泊
7/28 (木)	フェニックス発	08:40	AA(アメリカン航空)5628 便にてロサンゼルスへ
	ロサンゼルス着	10:20	到着後、機内食工場見学 昼食:エグゼクティブクラスの食事を試食
			ユニバーサルスタジオ見学 ロサンゼルス泊
7/29 (金)		11:15 ~	研修の振り返り ロサンゼルス空港研修 JAL 乗員と対面・ブリーフィング見学・空港施設見学
	ロサンゼルス発	13:45	JL(日本航空)061 便にて東京(成田)へ 機内で客室乗務員の話聞く 機内泊
7/30 (土)	東京(成田)着	16:55	到着後、解散式

3. 研修写真

第 1 日 目 7 月 25 日 (月)

7/25 (月)		13:15	成田空港にて研修開始式、
		14:00	空港施設見学
	東京(成田)発	18:05	NH(全日空)178便にてシアトルへ 機内で客室乗務員の話聞く
	シアトル着	11:25	着
			市内見学 (パイクプレイスマーケット〜スペースニードル) シアトル泊

◆成田空港にて研修開始



◆成田空港施設見学

成田国際空港(株)・(株)JAL グランドサービスの皆さんの案内

B787 機見学



旧コントロールタワー見学



花時計にて



◆乗務員の仕事をを知る



◆シアトル空港到着

ANA 支店、NH178 便 乗務員の皆さんと一緒に。



NH178 便にてシアトルへ(所要時間:9 時間)



◆シアトル市内見学

スターバックス本社



スペースニードル



レーニア山 (Mount Rainier)



標高 4392 メートル

ガムウォール



スターバックス 1 号店



パイクプレイスマーケット



第 2 日 目 7 月 26 日 (火)

7/26 (火)			ボーイング社エバレット工場見学 現地カミアック高校の皆さんと一緒に航空博物館見 学と昼食懇親会
	シアトル発	17:59	AA(アメリカン航空)442 便にてフェニックスへ
	フェニックス着	20:52	フェニックス泊

◆ ボーイング社エバレット工場見学



エバレットにて、最終点検中の JAL 機前にて、JAL の皆さんと一緒に。



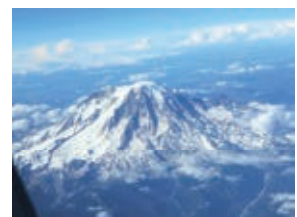
◆ 現地学生(Kamiak High School)との交流



↑ お揃いの T シャツで記念撮影



フェニックスへ移動



レーニア山(上空より)

第 3 日 目 7 月 27 日 (水)

7/27 (水)	09:00 ～	JAL フェニックス運航乗員訓練所見学
		セドナ見学

フェニックス泊

◆JAL フェニックス運航乗員訓練所見学



訓練機の操縦席体験



シミュレーター体験 JAL 教官の皆さんと。



◆セドナ見学



第 4 日 目 7 月 28 日 (木)

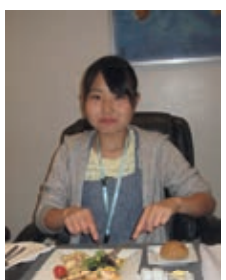
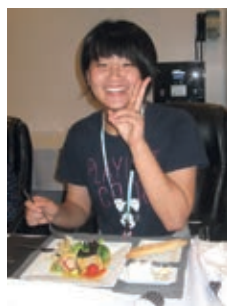
7/28 (木)	フェニックス発	08:40	AA(アメリカン航空)5628 便にてロサンゼルスへ
	ロサンゼルス着	10:20	到着後、機内食工場見学 昼食:エグゼクティブクラスの食事を試食
			ユニバーサルスタジオ見学 ロサンゼルス泊

◆ロサンゼルス空港到着後、機内食工場“フライングフードグループ”見学



厳重な衛生装備で見学

昼:エグゼクティブクラスの食事を試食





◆ユニバーサルスタジオ見学



第 5 日 目 7 月 29 日 (金)

7/29 (金)		11:15	研修の振り返り ロサンゼルス空港研修 JAL 乗員と対面・空港施設見学
	ロサンゼルス 発	13:45	(日本航空)JL061 便にて東京(成田)へ 機内で客室乗務員の話聞く 機内泊

◆研修の振り返り



◆ロサンゼルス空港研修

JAL 支店、JL061 便 運航乗務員の皆さんと一緒に。



◆乗務員の仕事を知る



JL061 便 客室乗務員の皆さんと一緒に。

ファーストクラスにて



第 6 日 目 7 月 30 日 (土)

◆16:55 JL061 便 成田到着

◆解散式



お出迎えのご家族と一緒に。



4. 研修レポート

「最高の仲間と貴重な体験」

多古町立多古中学校 石井 友菜

学年主任の先生に「アメリカに行ってみない？」と言われ、初めは何のことだかわからず驚きましたが、『空の日』中学生海外主要空港派遣事業の内容を聞くうちにすごく行きたいと思った反面、全員初対面のメンバーと行くことに大きな不安もありました。

研修初日。事前説明会で一度だけ会ったことはあるものの、ほとんど話したことがない6人でこれから6日間仲良く過ごせるだろうかと不安な気持ちでいっぱいでした。でも、見送りに来てくださった校長先生と学年主任の先生に「友菜は社交的だから大丈夫、すぐ仲良くなれるよ。」と声をかけてもらい、少し気持ちが軽くなりました。

チェックイン手続きを済ませ研修開始式のあと、家族と一緒に成田空港を見学しました。普通では入ることのできない管制塔やJALのハンガーなどを見させていただき、既にとても貴重な体験をさせていただいていることに、これから始まる海外での研修を思うとドキドキしました。

家族と別れて飛行機が離陸し数時間後にANAのCAさんの仕事場を見学し、エプロンをつけて飲み物を運ぶ体験やインタビューもさせていただきました。今までで1番大変だったことは、機内で急病人が出たことだそうです。そんなドラマのようなこともあるんだと驚きました。CAさんのお仕事は華やかに見えて、実は人の命を預かる大変な仕事なのだと感じました。



1日目は日本との時差の関係で1日半くらいの長さに感じました。女子の2人とはだんだん話せるようになってきましたが、男子とはまだ壁があるように感じていました。

2日目は私が1番楽しみにしていたボーイング社エバレット工場の見学とカミヤックハイスクールの学生さんとの交流です。ボーイング社は世界最大の航空機製造会社だと聞いていたのでとても大きな工場なのだろうとは思っていましたが、その想像をはるかに上回る規模ですべてに圧倒されました。数日前に完成したばかりというJALの飛行機のcockpitに座らせていただきとても感動しました。cockpitに座らせていただいたボーイング787の機体の3分の1程は日本で造られていると聞き、嬉しく思

いました。

その後、現地の学生さんたちと一緒に航空博物館の見学をし、食事をしました。その時に食べたピザがとても大きく、さすがアメリカ！と思いました。カミヤックの生徒さんたちはとても明るくて楽しい人ばかりでした。私も英語で会話することができ、2人の方と連絡先を交換し今も交流を続けています。

3日目になると5人の仲間とは壁がほとんどなくなり、いろいろな話ができるようになりました。この日の研修はJALの乗員訓練所の見学、セドナツアーでした。訓練用の小型飛行機に乗せていただいたり、シミュレーターも体験させていただきました。

セドナでは、男子も女子も本当に仲良くなりました。今まで見たことのない広大な景色に感動し、みんなで一緒に写真を撮ったり、移動の車で色々な話しをしてすごく距離が近づきました。

4日目。会話の中に「あと少しだね。」「もうすぐ終わっちゃうね。」という内容が増えました。初日の不安だった気持ちは消え、ずっと一緒にいたいと思いました。

機内食工場は冷蔵庫の中にあるような寒さの中で、今まで食べたことのある物が製造されていて感動しました。ビジネスクラスの食事を食べることができ、とても豪華でおいしかったです。

午後からはユニバーサルスタジオ・ハリウッドへ行きました。説明などはもちろん英語でしたが、理解できる内容がだんだん増えてきてとても楽しむことができました。お土産のお菓子類が少なく、日本との違いを感じました。

研修最終日。朝の研修振り返りで一人ずつ感想発表を録画しました。お別れがせまってきている事を実感しさみしくなりました。引率の浜崎さんから6人お揃いのマグネットをいただきとても嬉しかったです。

ロサンゼルス空港では2種類の犬を見かけました。1匹は日本にもいる荷物を調べる犬で、今は世界中でテロが起きているので警備が厳しくなる中、重要な役割を果たしているそうです。もう1匹は仕事ではなく、ボランティアの方がお客様をリラックスさせようと連れてきてくださっているそうです。



帰りの飛行機ではJALのCAさんからお話を聞くことができました。責任者の方のジャケットをお借りし、CAさん用の椅子に座らせていただき緊張しました。

とても仲良くなれたこのメンバーとの別れの時間が近づいてきて、最後の機内食を食べているころはさみしい思いでいっぱいでした。この仲間とはずっと交流を続けていきたいです。いつかまた6人そろって会いたいと思います。

6日間の研修に参加させていただき、空港や飛行機に関わるたくさんの貴重な場所を見学させていただきました。成田空港の近くで生まれ育ち、普段から飛行機を間近に見ていた私ですが、研修を終えた今は、安全・安心を第一に考え、世界中のたくさんの人達が関わって成り立っていることを知り、何気なく見えていた飛行機や空港が特別なものを感じる気がします。

最後に、学校が違う初対面の私達6人がこんなに仲良くなり、楽しく充実した6日間を過ごせたのは、引率して下さった 浜崎さん、黒川さん、上野さんのおかげです。

そして、今回お世話になったたくさんの方々、このような機会を与えて下さったすべての方々に心から感謝しています。ありがとうございました。

「夢の実現への第一歩」

河内町立金江津中学校 伊藤 愛美

私の住む地域では、飛行機はとても身近なもので、空を見上げればつねに飛行機が空を飛んでいます。しかし、私は飛行機についての知識は決して広くありませんでした。

今回の研修で学んだことは、興味のあることばかりで私の将来を決めていくうえでの貴重な体験をすることができました。

初日は、開会式で自分の目標を発表しました。私の目標は「自分の伝えたいことを最後まで伝える」ことでした。この目標をもって研修に参加しました。まず、成田国際空港を見学しました。成田空港から世界各地へ飛び立ち、世界中から成田空港へ来る航空機は毎日約620機にもなり、年間約23万回の離着陸が行われているそうです。また、飛行機は風の向きによって離着陸する方向が違い、出発当日は北風だった為、北に向かって離陸しました。中でも一番驚いた事は、A滑走路の長さが4000mだという事です。ちなみに、4000mといえば上野駅から東京駅までとほぼ同じくらいだそうです。成田空港は自然がたくさんある場所です。そんな中、唯一の飛行機の弱点といえば鳥です。鳥は運行の邪魔をし、時には航空事故などの原因となることもあるそうです。その対処法としては、鳥を空港に近づけないよう大きな音を出して追い払うことだそうです。

シアトルまではANA便で出発しました。客室乗務員(CA)といえば、お客さんの安全を考え、少人数のCAに対して、何倍もいるお客さんに気を配るなど大変そうなイメージがありました。初めてCAの仕事を体験してみて、大変な仕事でもありますが、普



段接することのない様々な地域の方々と触れ合う機会でもありと感じました。ここでは、飲み物や機内食を運ぶカートを押しました。簡単そうに見えても実際はカートをコントロールするのが難しく、フライトに負けない体力も必要だと実感しました。さらに、CAの皆さんは全員前髪をあげていました。それはお客さんと接する中で、笑顔で目を合わせることに注意しているからだそうです。前髪があると印象が暗くなってしまうからです。

細かい所まで行き届くお客さんへの気遣いにとっても感激しました。

シアトルは日本との時差が16時間あり、気温も高くなく涼しかったです。到着後はシアトルを市内観光しました。パイプレイスマーケット、スペースニードル、スターバックス本店と1号店に行きました。一番印象に残っているのはスペースニードルです。高さが約180mあります。1962年に世界万国博覧会「Century21」がシアトルで開催されることになった為、1961年12月に完成したそうです。展望台まで登るとそこから見える景色はとともきれいでした。

2日目に行ったボーイング社エバレット工場は、世界最大の容積をもつ建築物だそうです。その中で、約18日という短期間で作りあげてしまうそうです。最新の技術のすごさに驚きました。また、飛行機の部品の3割以上が日本製のものだとわかりました。その後現地の学生と航空博物館を見学しました。自己紹介する時は、きちんと相手の目を見て自分をアピールすることを心がけました。現地の学生は日本語で自己紹介をしてくれました。私は英語が十分に喋れないので交流できるか不安でしたが、私が伝えたいことを簡単な英語ですがきちんと伝えることができ嬉しかったです。

夕方にアメリカン航空で、フェニックスに移動しました。フェニックスは最高気温が48度ととても暑かったです。ここではフェニックスJAL乗員訓練所を見学しました。この訓練所では、基礎訓練をしているそうです。一番大切なことは、どんな状況でも対応できるようにいろいろな天気や状況に合わせて訓練をすることだそうです。私はシミュレーター体験をしましたが、とても難しく、また離陸しない時はハンドル操作ではなくペダルでコントロールしていることに驚きました。実際にシミュレーターを体験してみて、パイロットという仕事の責任の重大さを痛感しました。



4日目に、アメリカン航空でロサンゼルスへ移動しました。空港についてから、JALの機内食工場を見学しました。日本航空は和食に力を入れているということで、なるべく日本の味になるようにしているそうです。また、地上と機内での味付けも変え

ているそうです。機内食工場を見学して感動したことは、一つ一つ自分たちの手で作業していたことです。

研修に参加して、航空に携わる人たちがそれぞれ責任をもって仕事をしていると感じました。また、自分が将来就きたい仕事の選択肢を増やすことができ、夢の実現に近づく第一歩になりました。研修に参加して本当によかったです。この研修に関わってくださったすべての方々に、深く感謝いたします。本当にありがとうございました。

「世界とつながる空の旅」

栄町立栄中学校 稲橋 莉

私は、海外に観光やホームステイで何度か行った事がありますが、今回は学ぶために海外へ行くという目的に惹かれて参加しました。実は、出発前日まで緊張と興奮で眠りにつけず、アメリカに行けることさえ夢のような感覚でした。この派遣の目的は、「空港や都市、航空関連工場を見学することにより航空と空港への関心と理解を深めよう」という事でボーイング社や乗員訓練所、機内食工場見学などたくさん航空関連を見学・体験をさせてもらいました。研修として行くことは初めてでしたので、とても貴重な体験をすることができました。

1日目のスタートは、成田空港施設見学でした。初めに管理ビルに行きました。なかなか入ることのできないビルの13階から実際に滑走路を見ながら説明を受けました。滑走路は、いくつもあり、それぞれ名称がついていて風の向きによって離着の場所を変更する事や通信手段はすべて英語で話す事を教わりました。次に滑走路内をバスで移動しながら間近で多くの飛行機を見ることができました。そこには「777」や「787」などの旅客機がたくさんあり、空港の社員の方が機体の見分け方を分かりやすく教えてくれました。例えば「787」はエンジンが2つあり、騒音と空気抵抗を減らすためのギザギザがある。そして車輪は8輪あります。「777」といえば、とても大きいエンジンが2つあり、車輪が12輪あります。毎日、家の近くでは飛行機が見えるのでこれからは単に眺めるだけでなく何の機種なのかと関心が沸くようになりました。

途中、「整備ハンガー」と呼ばれる機体を整備する工場に降りました。そこでは普段は立つことのできない大きな機体の真下で説明を受けました。機体の外にある穴は気圧調整の為やライトの役割など知らなかったことをたくさん聞くことができました。

そして、ついに家族に見送られ日本を旅立ち、シアトルへ向かいました。機内で映画を楽しんだ後、客室乗務員の方々時間が割いて仕事内容の説明をしてくれました。ギャレーと呼ばれる場所



には、100人以上もある食事がコンパクトに収納されていたり、お客様が呼び出しボタンを押した際に印となるランプの説明をしてくれたり、私達の質問にも丁寧に答えてくれました。私は、家族の代理として「客室乗務員になるには身長は必要ですか」と質問をしました。そうすると優しく「緊急時にお客様の頭上にある荷物置き場をすぐに押さえたり、高い位置での業務に支障がない為には身長が必要となる場合があるので身長基準を設けている会社が多いようです。」と教えてくれました。

2日目、シアトルに到着して世界最大の航空機製造工場のボーイング社エバレット工場を見学しました。製造過程を見ることができ、又、その広大な工場はアメリカならではの「大きい!」というイメージそのものでした。飛行機の部品は、アメリカ内だけで作られるのではなく世界から各部品を集めて作られるそうです。その内の3割は日本で作られるのだそうです。工場内を見学した後は、完成したばかりの飛行機に乗せてもらいました。中でも感動したのがコックピットです。映画で見るようなたくさんのボタンや機械がありました。中でも戦闘機にあるような「ヘッドアップディスプレイ」が一番感動しました。その後、客席スペースを見たり機内を出てエンジンの説明を受けました。エンジンの真ん中には白い渦巻きがあり、それは鳥を追い払う為にあるそうです。又、機体は20~25年使用し、その後はスクラップされてリサイクルされるそうです。

工場をあとにして航空博物館へ向かい、そこでは現地の高校生と一緒に見学しました。英語圏の人と会話をするのは久しぶりでしたので、自分の英語が通じるか不安でいっぱいでした。しかし、思っていたよりも通じてそれどころか「英語がうまいね」と褒められました。そして現地の高校生達も日本語がうまく、アメリカでも日本語を学んでいる学生がたくさんいることが嬉しかったです。一番仲良くなった人は、20代前半



でしたが、話を聞くと高校の卒業生として来ているとの事でした。卒業生達も毎年、この交流を楽しみにしているみたいです。懇親会を終え感じた事は、予想よりも英語が通じたので学校の授業は無駄では無いと実感しました。そして、楽しい思い出と共にその夜、シアトル空港からアリゾナ州のフェニックスへ向かいました。

3日目は、フェニックス JAL 乗員訓練所での見学でした。そこではパイロットになる

までの過程や実際にプロペラ機に乗ってシミュレーターを体験させてもらいました。シミュレーターでは操作が、とても難しく初心者の私は理不尽なプログラムを入れてしまい、「事故」という結果になってしまいました。楽しむのと同時に実際は、お客様を乗せてきちんと飛ばなければいけない責任重大な仕事だと感じました。

4日目のロサンゼルスでの機内食工場見学では、ビジネスクラスの機内食を試食しました。小さい頃に食べた機内食は、少し乾燥していたイメージでしたが、出された機内食は、とても新鮮で汁気が多い事にびっくりしました。試食の後の工場内見学は、とても寒かったです。それは、食料を冷やし菌などを殺す為、そしてマイナス5度で料理した後は再びマイナス5度に戻す為だそうです。1日に何千食も作らなければならないので、工場内の機械ではとても足りないとおっしゃっていました。

この派遣では、研修以外にもシアトルではパイクプレイスマーケットやUFOみたいな形のタワーのスペースニードル、フェニックスではパワースポットとして有名なセドナツアー、ロサンゼルスでは本場ハリウッド映画の撮影もおこなわれているユニバーサルスタジオ・ハリウッドとたくさんの場所へも連れて行ってもらいました。目で見て体感してアメリカの文化を感じることができました。又、空港で働く人達やアメリカで働く人とお話していく上で日本の海外進出を身をもって感じる事ができました。

この研修でこれからの人生、世界とつながっていく自分が想像できます。成田空港の方々やアメリカ研修でお世話になった方々、現地の高校生、そして引率していただいた浜崎さん、上野さん、黒川さん、本当に貴重な体験をありがとうございました。

「航空の裏側で学んだこと」

神崎町立神崎中学校 内田 颯太

僕がこの研修に参加したきっかけは、先生からの一言でした。「内田君、行ってみないか」と。その時は参加するかしないか、とても迷っていましたが、家族や友達の勧めもあって参加してみようという気になりました。これが初めての海外だったので、当日までいろいろと不安もありました。しかしアメリカに行き、空港の裏側を学習することができ、本当に良かったと思える最高の旅でした。

初日は成田空港の見学から始まりました。特に印象に残っているのはランプコントロールタワーとJALのハンガーです。ランプコントロールタワーは飛行機の駐機位置の割り当てなどを行ったりする所です。セキュリティが完璧だったので成田の「空の安全」は安心だなと思いました。ハンガーは飛行機の格納庫です。ここでは整備士の方

にボーイング 787 の特徴などを教わりました。ほかの飛行機よりも良い点がたくさんあったので、飛行機が進化していることを間近で感じました。

成田からシアトルまでの機内では客室乗務員の仕事を見学し、約 9 時間のフライトを経てシアトルに着きました。

シアトルでは初めに市内見学をしました。スターバックスの本社や一号店などいろいろ見学しましたが、一番心象に残っているのはパイクプレイスマーケットの魚市場です。ここでは注文した魚を投げて渡してもらうことができるのです。シアトルのマーケットの見学から、アメリカ文化の豪快さを感じました。

2 日目はまずボーイング社の工場を見学しました。広さは東京ディズニーランドの 3 倍以上もあり、面積は世界一だそうです。ひとつの格納庫に縦に 4 機飛行機が入っており、前に進んでいくほど、機体完成に近づいていきます。「尾翼」や「胴体」などのパーツはシアトルでは作られておらず、世界中の工場からパーツが集まってきます。それを組み立てるのがボーイング社の工場です。ちなみに日本で作られたパーツも 3 割ほどあるらしいです。生産機体数は月に 12 機だそうです。つまり約 3 日に 1 機というとても早いペースで完成しているということです。工場で働いている人達は皆生き生きしており「生きる喜び」を感じているようでした。このような場所で生きがいをもって働くのも良いなと思いました。

午後からは、現地の学生との交流会がありました。最初はお互いに気まづくなってしまうましたが、ピザを一緒に食べたりしているうちに少しずつ、打ち解けていきました。最後には連絡先を交換するほど仲良くなることができました。海外に友人を作るというめったにできない体験をすることができたので、この関係をずっと続けていきたいです。

その日の夕方には飛行機でフェニックスへ移動しました。フェニックスは暑いと聞いていましたが、想像をはるかに超える暑さに驚きました。日本では経験することのできない、気温が 40℃の世界を体感することができたので、これもまた良い思い出になりました。

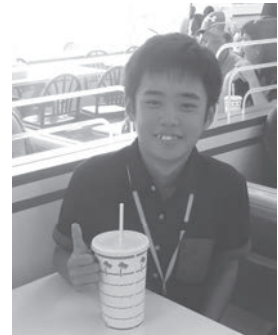
3 日目は JAL の乗員訓練所に行きました。ここでの一番の驚きはパイロットになることの難しさです。飛行試験や学科試験などたくさん試験があるようですが、ひとつの試験に二度落ちた場合は、もうその会社でパイロットになることはできません。ここまで厳しいとは思ってもみませんでした。また、説明を受けた後はシミュレー



ター体験をしました。高度や角度、気候などすべてを同時に注意することがとても難しいと感じました。それをこなすパイロットはさすがだなと思いました。パイロットという仕

事は、お客様の命を預かる大切な仕事なのだとここで改めて感じました。

この日の昼食はハンバーガー屋で食べました。ドリンクは試しにXLを注文してみましたが、あまりの大きさに驚きました。飲むだけで一苦勞のサイズでした。しかし、本場アメリカ。ハンバーガーの味は最高に美味しかったです。



4日目は機内食工場の見学をしました。ビジネスクラスの食事を食べさせていただきました。肉はとて分厚く焼き加減も最高でした。全ての食事に高級感が漂っていました。食事の後は工場内の見学をすることができました。

厨房に入る前にもチェックがたくさんあり、衛生面は完璧でした。工場に入ると意外と手作業で行われている仕事が多くて驚きました。この工場は24時間稼働しており、2時間で2フライト分の機内食ができると聞きました。素早く正確に作業が行われていたのですごいなと思いました。

この日の午後はユニバーサルスタジオへ行きました。ここでの一番の思い出はアトラクションもそうですが、レジでの出来事です。「袋を5枚ください」という英語での言葉が一発で伝わったとき、なんだかとてもうれしく感じました。そのおかげで英語を勉強することにやりがいを感じるようになりました。

最終日は空港見学を少し行い、機内で客室乗務員の仕事を見学してあっという間に日本に着いてしまいました。

僕はこの研修に参加して、将来の職業への選択肢を増やすことができました。航空関係の仕事に就くことは大変ですが、多種多様の空港の仕事はみなやりがいのあり、働いている方々はそれぞれ仕事に「生きがい」や「やりがい」を感じていると思います。この研修で得たこと全てを糧に将来の夢に向かって頑張っていきたいと思います。引率して下さった浜崎さん、上野さん、黒川さんをはじめ、行った先々で協力して下さった全ての方々に心から感謝しています。本当にありがとうございました。



「夢への第一歩」

芝山町立芝山中学校 木内 昭汰

私はこの研修に行くことになった時、とても嬉しかったです。なぜなら私の将来の夢はパイロットになることだからです。私の家の近くには航空博物館があり、良く通っていました。そこには飛行機のパーツや昔飛んでいた古い飛行機などはありますが、現役で飛んでいる物はありません。しかし、今回の研修ではボーイング社のエバレット工場見学や機内研修など、飛行機についての研修がたくさんありました。それに現役で活躍しているパイロットの方々の話も聞けるという事だったのでそのこともとても楽しみです。ですから私はこの研修がとても待ち遠しかったです。

研修の1日目は成田空港の制限区域に行きました。普段は入ることのできない場



所に入ったという事だけでとても嬉しかったのですが、特に印象に残った事は JAL の整備士の方がボーイング 787 について詳細に説明してくれた事です。そこで飛行機について説明して下さった方はとても飛行機に詳しくとても驚きました。そこでこれまで知らなかった事を初日からたくさん知ることができました。

研修2日目はボーイング社エバレット工場の見学を最初にしました。この見学は私が研修の全行程で特に楽しみにしていたことなので、とてもワクワクしました。エバレット工場は一般の人でも見学できますが、私たちは一般の見学ルートではなく、もっと飛行機を間近に見ることができるルートを見学することができました。私は飛行機のことについては結構知っていると思っていましたが、ここでは今まで知ることができなかったことをたくさん知ることができました。例えば、飛行機に使われる部品のいくつかは、日本の企業が作っているという事です。飛行機のパーツはバラバラな状態で作られ、その後ボーイング社の工場に持ち込まれることは知っていましたが、日本で作られているパーツがあることは知りませんでした。また、製造過程の機械化が進んでいますが、最終的には人の目で確認します。ここで改めて飛行機を作るのにはたくさんの方が関わっていることを実感しました。飛行機を製造している工場の隣には滑走路があり完成した飛行機はそこからそれぞれの航空会社がある国へ運ばれていきます。僕はその姿を見て自分は飛行機の製造に関わっているわけではないけれど、とても誇らしげな気持ちになりました。その他にもたくさんの

事を知ることができて、とても良い経験を積むことができました。

次に現地の高校生との懇親会に参加しました。はじめは少し緊張しましたが、そのうち気軽に話せるようになりました。そこでは今流行っているゲームの話やそれぞれの国の話などをして盛り上がりました。現地の高校生は日本語を学んでいて、とても上手な人もいれば、まだ習い始めたばかりの人もいました。私もたくさん英語を勉強して、たくさんの人達と話せるようになりたいなと思いました。

研修3日目は、JALの乗員訓練所に行きました。ここでは訓練生の方々からパイロットになるための訓練課程やJALのパイロット育成プログラムなどを教えていただきました。副操縦士になるための訓練は、単発プロペラ機の操縦から始まり、またパイロットになってからも、定期的に試験があると知りました。たくさんの方の命を運ぶためにはそれだけ厳しくする必要があるのでなと思いました。パイロットになるまでの道のりも大変だし、晴れてパイロットになれたとしても人の命を預かる大変な仕事だと思いました。その後は実際に訓練している方々が使用しているフライトシミュレーターを体験させていただきました。初めてこのような本格的なシミュレーターを体験して、私はとても嬉しかったです。この乗員訓練所でお世話になった方々は、パイロットの仕事をしつつ、教官として訓練生に飛行機の操縦を教えています。今まで飛んでいるのが当たり前だと思っていた飛行機も1機飛ばすためにとてもたくさんの方の時間と労力が費やされているという事を感じました。



研修4日目は、機内食工場に行ってビジネスクラスの食事をいただきました。もちろん私はビジネスクラスの機内食を食べるのは初めてで、とても楽し

みにしていました。見た目もすごくきれいで、すごくおいしかったです。その後は機内食工場の見学をしました。そこでは日々たくさんの航空会社から発注を受け、出発便の時間に遅れることなく配送しています。それらの情報はすべてコンピューターで管理されていて、機内食を作ることもとても大変な仕事だと思いました。

この研修を通して、航空関係の施設で働いている方々からのお話を聞く機会がたくさんありました。その方々は、自分の仕事にプライドを持って働かれていることがわかりました。もし私が将来パイロットになれたならば、この方々の気持ちを背負って乗客を安全に目的地に送り届けなければならないと思いました。パイロットは常に大きな責任が伴う仕事です。それと同時にとてもやりがいのある仕事だと思いました。将来私がパイロットになったときは責任感があり安全を第一に考えることができるパイロットになりたいです。

「将来の夢への第一歩」

富里市立富里中学校 北村 穂香

私は、今回のアメリカ研修でたくさんの貴重な体験をし、様々な事を学び、世界の広さを実感することで自分の夢に対する意識が深まりました。

1日1日がとても心に残る経験ばかりでしたが、その中でもより印象に残っていることが4つあります。

1つ目は、人生で初めて飛行機に乗れたことです。25日の朝から少し緊張していましたが、乗ってから研修メンバーと話したり、テレビを見たり、リラックス出来たことで人生初の飛行機を安心して乗ることが出来ました。

最初はゆっくりと機体が動いて、10分ほどするとだんだん速くなり、ふと気づいたら空を飛び始めました。その後重力を体を感じながら耳鳴りがしましたが、とても夢のような経験でした。

2つ目は、航空関係の仕事や空港の仕組みを見学し、学べたことです。

空港の仕事には、沢山の大切な機械や人々、それらが連携されて空港が成り立っていることや機体1つ1つの違いなどを知ることが出来ました。

研修中に、パイロットの方やCAの方と直接お話をする機会をいただき、沢山の質問をしたり、夢を後押ししていただきました。

その中で、「私たちはお客様のために尽くすことが役目なので仕事で辛いことはない」といった言葉が私の心にとっても響きました。

将来の夢についてあまり深く考えたことがなかったので、CAさんの言葉を聞いて、CAになりたいという気持ちが大きくなりました。

機内食工場では、ファーストクラスの食事を食べたり、実際に機内食が作られる過程や、食材が保管される極寒の倉庫を見学することが出来ました。

衛生面に気を配り、寒かったり熱かったり、食材を第一に考えた施設内で働くには、体調管理も仕事の1つなのだとわかりました。

またフェニックス JAL 乗員訓練所では、飛行機操縦シミュレーターを体験させていただき、飛行機の操縦の大変さ、天候の変化による操縦練習など貴重な体験をさせていただきとても嬉しく思いました。



航空関係で働いている方々の飛行機に対する情熱が伝わり、夢を実現するために数えきれないほどのテストや練習の為、勉強をしていることを知ることができました。

又、楽しそうに仕事をしている姿も生き生きとしていてとても印象的でした。

3つ目は、現地の高校生との交流です。カメラの生徒さんと英語や日本語を交えて楽しく会話をする事が出来ました。

自己紹介からちょっとした会話まで日本語で話していて日本語をたくさん練習しているのだなと思いました。

最初は中々会話が出来ず、困っていましたが食事を共にしたり、買い物をしたりするうちにとても仲良くなりました。

私が少し英語を間違えていても、理解をしてくれて、しっかり質問してくれたので会話が弾んで楽しむことが出来ました。

今回仲良くなった生徒さんと今でも英語や日本語を交えて楽しく SNS で交流を深めています。

沢山会話をしている中で1つ1つの単語の発音に普段から気を配り、コミュニケーション能力をより高めたいと思いました。

その為には、授業や自主学习などで英語に触れ、普段から英語に慣れ親しみ、語学力をつけていきたいです。

4つ目は、スペースニードルから見たシアトルの街並みです。海やビルや観覧車、小さい島など美しい景色が眼下に広がっていました。

ビルが立ち並んでいる都会の美しさの景色に加え、海風が気持ちいい大海原、自然と街並みの一体感が映画のシーンのようでした。

町にはたくさんの花が咲いていて、アメリカの方々は自然をととても大切にしているのが伝わりました。

現在、地球温暖化や自然破壊が問題となっているので日本もこのような街を見習うべきだと思います。

私はこの研修に参加してたくさんの大切なことを学び、将来の夢を膨らませることが出来ました。

参加する前は、アメリカと日本では違うことがたくさん有りいろいろな壁があるのだろうと不安でした。

ですが、アメリカに滞在していた中で、現地で英語や人々と触れ合い、身振り手振りや単語だけでも言葉や気持ちが伝わり、人と人との関わりがどれだけ大切なものか



考えることが出来ました。

生まれた国も話す言語も違う人々と共に過ごした時間は短かったですが、私にとってとても有意義なものとなりました。

そして多くの人々の働きのおかげで私たちはこの世界を行ったり来たりでき、色々なものを目にし、たくさんの人と出会うことが出来ます。

その中で、諦めずに努力していけば、いつか自分の夢につながり、大きな力になるのだとわかりました。

世界中の国と国をつないでいる空港は、人と人をつないでいる大きな架け橋のような気がします。

このような素敵な場所で働いている皆さんがとても輝いて見えました。そんな姿を見られたからこそ

私の将来の夢を見つけることが出来ました。

今回の研修で、たくさんの貴重な体験をさせていただいて、私にとって大きな経験となりました。

この経験を生かして人の心を動かすことのできるカッコいいCAになりたいです。

浜崎さん、上野さん、黒川さんをはじめとするたくさんの実行委員の方々、また今回の研修でお世話になったアメリカの方々、今回このような機会に参加させていただき本当に嬉しく思っています。本当にありがとうございました。



5. 編集後記 引率者より メッセージ

◆ 成田国際空港(株) 黒川 文雄

皆さん、お久しぶりです！元気に過ごしていますでしょうか。研修を終えて、あっという間に時間が経ってしまいましたね。

私は昨年と一昨年の2年間に亘り、この「空の日中学生海外主要空港派遣事業」に携わらせていただきましたが、今回初めて、引率者としてこの研修に参加することになり、これまでとは違った意味で大きな期待を感じていました。なぜなら、これほど貴重な経験は簡単にできるものではないこと、そして、6日間という短い期間でありながら、1人1人が見違える程成長し、素晴らしい仲間となって日本に帰国してきた皆さんの先輩達を見てきたからです。これから一緒に6日間を過ごす皆さんが研修を通じて、どのようなことを学び、感じ取ってくれるのかを想像すると、研修の各調整を行うにあたり、これまで以上に力が入りました。

一方、皆さんは、お互いほぼ初対面でありながら、異国の地で6日間を過ごすのですから、“期待”と“不安”が大きく入り混じっていたことでしょう。初日の成田空港での研修を終え、日本を出発した頃は、お互いぎこちなさを感じながらのスタートだったように思います。ですが時間が経つにつれ、お互いのことを理解し、サポートしようとする気持ちが、周りで見えていた私達引率者にも伝わってきましたし、帰国する頃には、本当にいい仲間(チーム)になっていましたね。研修の中で日に日に成長し、少しでも積極的に行動しようと努力している姿を見て、引率者として本当に嬉しく感じました。

これから、皆さんがどのような道に進み、将来、どのような仕事に就くとしても、1人で何かを成し得ることは決して多くはないはずです。今回の皆さんのようにそれぞれが責任感を持ち、それぞれが個性を出し、そしてチームとしてまとまった時に、いい成果が得られるのだと思います。これは何も将来の仕事だけでなく、これからの学校生活や家庭においても重要なことだと思います。

今回の研修に参加してみなさんはどのようなことを感じ取りましたか？航空に関する様々な仕事や海外の言葉・文化・食生活に触れることができたこの研修は必ず皆さんの将来の糧となることと思います。そのような研修に参加できたことを誇りに思い、また、皆さんのために、この研修を企画しサポートしてくれた多くの方々、現地で知り合った友人、そして何より皆さんの家族への感謝の気持ちを絶対に忘れずに未来に向かって歩んで欲しいと強く願っています。



そして、是非、この出会いを大切にしてください。これほど貴重な時間を共に経験した仲間はきっと一生の財産になるはずです。私も皆さんと出会い、共に 6 日間を過ごすことで多くのことを学ばせてもらいました。何かあればいつでも力になりますので、遠慮せずに声をかけてくださいね！

最後になりますが、本事業にご尽力をいただきました関係者の皆様、ご家族の皆様がこの場をお借りしまして心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

◆ (公財) JAL財団 添乗員 上野 友子

皆さん、こんにちは。お元気でしょうか？

成田空港での解散式からあつという間に時が経ちましたね。今は受験に向けて勉強に励んでいることと思います。空の日で皆さんと一緒に過ごした 6 日間ではたくさんの方々に会い、様々な現場で活躍されている、懸命に働いている方々に触れ、直接お話をする機会を頂けたことは本当に貴重な体験になったことと思います。そしてアメリカの雄大な自然や本場の英語にも触れられたことは、今思い出してみても多くの刺激を受けたのではないのでしょうか？空の日の研修を通して皆さんがご自分の目で見て、体で感じ、思ったことはご家族の方に伝えることはできましたか？また皆さんが研修の目標の一つにもされていた、学校のお友達や先生にしっかりとお話を、学んだことを伝えるという目標も果たせましたでしょうか？そして現地の学生との交流や一緒にこの 6 日間の体験を共にした仲間とは、その後も連絡を取り合っていますか？どちらもとても大切なことだと思いますので、まだ果たせていないようでしたら今からでも機会を見つけて目標を達成できるよう、努力してみてくださいね。

将来皆さんがどのような道に進むのかこれから色々と悩んだりすることも多いかと思いますが、今はまず残りの中学校での勉強を生活を全力で走り抜けてほしいと思います。そして仲間を大切にしてくださいね。それともう一つ健康な体を大事にしてほしいと思います。どのような職業に就くとしてもまずは健康な体でなければ、仕事を続けることは難しくなってしまいます。今回の研修では皆さん体調管理をしっかりとされておりましたので、ハードな 6 日間のスケジュールも無事にこなすことができました。今回のこの研修に参加させて頂いたことによって、将来の目標とか航空業界一つを見てみてもたくさんの職種があることを実感されたことと思います。まだまだ未来は無限に広がっていますので、夢を持って未来に向けて進んで頂けたらと思います。



最後になりましたが、この空の日の事業にお力を注いでくださいました皆様に心より感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

◆ (公財) JAL財団 リーダー 浜崎 明美

皆さん、こんにちは。あの暑い夏の研修がほんとうにあったのかなと思うくらい、季節は変わりました。皆さん、元気に勉学に励んでいますか。

7月30日、成田に到着してすぐの解散式の時、まず皆さんに聞きました。「この研修に参加してよかったですか?」「目標を達成できましたか?」「皆と仲良くなれましたか?」と。皆さんすぐに「もっと一緒に研修をしたかった!」と全員がピシッと手を挙げてくださいました。嬉しい回答でした。新しい仲間と共有したこの体験がひとりひとりの心に深く刻まれた尊い研修であったことを皆さんの瞳の輝きからもわかりました。

分刻みで行動するとっても忙しい6日間ですが、この研修は多くの方々の優しく真心のこもった細やかな手配で組み立てられた充実した素晴らしい研修ということを実感したことでしょう。手配して下さったたくさんの方々に感謝ですね。

学校の授業を越えて、航空業界のあらゆる仕事を学び、体験し、また、海外で仕事をし、生活している方々のお話を直接聞くことができたこの貴重な経験は、自分の世界を大きく広げたことと思います。今回のこの研修で得た気づきや経験が、皆さんの“今の夢”を越えてもっともっと大きな世界で活躍する原動力となってくれるものと確信しています。

”今“というこの瞬間は、あっという間に”過去“になってしまいますが、“今”の積み重ねが未来です。自分が「信頼されていること」を心にしっかりと刻み、感謝の気持ちを忘れず、これからも“今”を大切に、自分を磨きながら一生懸命未来に向かって歩んでください。

最後に、ご多忙の中、関係先と調整をし、温かく迎え、細やかに丁寧にご案内くださった関係各社の皆様に心より感謝申し上げます。



6. 「空の日」中学生派遣事業一覧

	実施年月日	派遣地区	人数	派遣先
1	1994.8.30-9.05	成田	8	欧州 (パリ・フランクフルト)
	1994.8.30-9.05	中部	6	米国 (ワシントン・アトランタ)
	1994.8.30-9.04	関西	7	東南アジア (ジャカルタ・シンガポール)
2	1995.8.27-9.02	成田	8	欧州 (ロンドン・アムステルダム)
	1995.8.25-8.31	兵庫	8	米国 (ロサンゼルス・シカゴ)
3	1996-8.26-9.01	成田	8	欧州 (パリ・ミュンヘン)
	1996-8.25-9.01	阪神	8	米国 (ニューヨーク・サンフランシスコ)
4	1997.8.25-8.31	成田	8	欧州 (パリ・ロンドン)
	1997.8.24-8.31	神戸	8	米国 (ニューヨーク・シカゴ)
5	1998.8.19-8.21	新潟	5	国内 (大阪・東京)
	1998.8.23-8.29	成田	8	米国 (ニューヨーク・シカゴ)
6	1999.8.18-8.20	関西	5	国内 (大阪・東京)
	1999.8.22-8.28	成田	8	米国 (ニューヨーク・シカゴ)
7	2000.7.30-8.05	成田・千歳	12	米国 (ニューヨーク・シカゴ)
8	2001.7.29-8.04	成田・石川県	8	米国 (ニューヨーク・シカゴ)
9	2002.7.24-7.27	全国 8 空港地区	28	国内 (羽田)、アジア (香港)
10	2003.7.23-7.25	全国 7 空港地区	14	国内 (羽田)
	2003.7.27-8.01	全国 3 空港地区	11*	米国 (ロサンゼルス)
11	2004.7.27-7.29	全国 14 空港地区	27	国内 (羽田)
	2004.8.04-8.09	全国 3 空港地区	10	米国 (シアトル、サンフランシスコ)
12	2005.7.25-7.30	全国 3 空港地区	10	米国 (ロサンゼルス)
	2005.8.03-8.05	全国 12 空港地区	24	国内 (中部)
13	2006.7.25-7.27	全国 12 空港地区	24*	国内 (羽田)
	2006.8.01-8.06	全国 3 空港地区	10	米国 (シアトル、サンフランシスコ)
14	2007.7.23-7.28	全国 3 空港地区	10	米国 (シアトル、サンフランシスコ)
	2007.8.01-8.03	全国 12 空港地区	24*	国内 (中部)
15	2008.7.28-7.30	全国 11 空港地区	22	国内 (羽田)
	2008.8.04-8.09	全国 3 空港地区	11*	米国 (シアトル、サンフランシスコ)
16	2009.7.27-8.01	全国 6 空港地区	12*	米国 (シアトル、サンフランシスコ)
	2009.8.05-8.07	全国 10 空港地区	20	国内 (中部)
17	2010.7.26-7.31	全国 3 空港地区	8*	米国 (シアトル、サンフランシスコ)
18	2011.7.25-7.30	成田	5	カナダ (バンクーバー) 米国 (シアトル、ロサンゼルス)
19	2012.8.21-8.26	成田	6	カナダ (バンクーバー) 米国 (シアトル、ロサンゼルス)
20	2013.7.30-8.04	成田	6	カナダ (バンクーバー) 米国 (シアトル、ロサンゼルス)
21	2014.7.29-8.03	成田	6	米国 (シアトル、フェニックス、ロサンゼルス)
22	2015.7.27-8.01	成田	5	米国 (シアトル、フェニックス、ロサンゼルス)
23	2016.7.25-7.30	成田	6	米国 (シアトル、フェニックス、ロサンゼルス)
合計			414 名	*絵画コンテスト「空の日」賞入賞者 1~2 名を含む。